

につき申し合わせ証文〔B〕

申合一札之事

一新艘打立之積

但 馬船老艘
小船老艘

一水主、倉賀野宿可ニ差出、出水之節、増水主共ニ「刻限無レ滞
可ニ差出一候事

一御大名様方御通行、其外御往来多節手伝「人足之儀、新町宿可
ニ指出、尤刻限延着なく」急度申付、差出可レ申事

一臨時入用手当金として、壹ヶ所ニ而金貳兩宛、「拾ヶ年之間年々
急度積金ニいたし、三ヶ所」之分金六兩年番を立、壹ヶ所江預
ケ証文「取置、順々ニ預リ可レ申候、尤三ヶ所立合申相改」可
レ申事

一下役・水主人足等、岩鼻・中島兩村之者与及三口論「候節ハ、
万端入用三ヶ所可ニ差出、尤成たけ内済」可レ致、乍然右村
江对不法之儀無レ之様情々申付、「無レ抛公辺之節ハ、入用三ヶ
所可ニ差出一事

一諸御往来并他村之者与口論之節も、右ニ順シ「可ニ取計一事
右之趣、会合之上取極候上ハ、違乱無レ之候、尤毎月朔日兩宿役
人伊左衛門会所江相詰、取締方」可レ致ニ差図一候、依レ之申合連印
仍如レ件

新町宿

惣代

問屋

源左衛門印

寛政八辰年

二月四日

年寄

紋右衛門印

同宿

伊左衛門印

倉賀野宿

惣代

問屋年寄

藤右衛門印

同

八左衛門印